

## 令和6年度第三セクター経営評価結果及び対応について

### 職業訓練法人青森情報処理開発財団

#### 1 令和6年度 経営評価

評価項目	目的適合性	効率性・効果性	組織運営の健全性	財務の健全性	透明性	自立性
第一次評価 (法人)	概ね良好	概ね良好	概ね良好	概ね良好	概ね良好	概ね良好
第二次評価 (所管部局)	概ね良好	概ね良好	概ね良好	概ね良好	概ね良好	概ね良好

全ての項目において「概ね良好」という結果となっている。

#### ※参考 令和5年度決算

- 当期損益 4,820千円 累積損益 440,595千円
- 市からの収入 352千円 (経常収益に占める割合R5 : 0.30%←R4 : 0.24%)  
うち競争によらないもの352千円 (経常収益に占める割合R5 : 0.30%←R4 : 0.24%)

#### 2 第三セクターの対応

##### ◆経営戦略プラン(R5~R7)の取組と計画

「地域の高度情報化に貢献する人材の育成」という使命を継続的に果たすためには、安定的な財政基盤(入学生の確保)の構築が不可欠という経営戦略方針に基づき下記取組を実施。

##### ○具体的取組

- ① esportsクリエイト専攻のPRや高校訪問体制の拡充など効果的な学生募集策の実施
- ② 地域で求められているチャレンジマインドに溢れるICT人材の育成
- ③ 社会で即戦力となる人材の育成と就職指導・支援の強化による就職率の維持
- ④ 自主財源の確保や経費の抑制等による財政基盤の安定
- ⑤ 情報の有効活用や管理の厳格化等による業務運営の効率化・健全化

##### ○財務計画:毎年度の黒字が目標

(R5 : 5,797千円、R6 : 473千円、R7 : 1,215千円)

##### 【取組状況】

令和2年度に県内初導入した「esportsクリエイト専攻」のPRや、学生募集担当(県立高校校長OB)を中心とした高校訪問など、効果的な学生募集策を継続した結果、令和5年度の定員充足率は110.8%となり、4年連続で黒字化を達成したものの、令和5年度1学年の充足率は98.3%となり、黒字額は前年度対比で▲10,012千円となった。

入学生の定員確保に向けて、令和6年度は、前年度に効果的であった学生募集策の継続に加え、SNSを活用したショート動画の配信によるPR強化、新教育訓練機器の導入、学生家賃補助制度の対象地域の拡大などにより、知名度と魅力の向上に努めている。

今後においても、経営戦略プランに基づき、環境変化に対応したカリキュラムによる職業訓練を行うとともに、入学生確保に向けた取組を強化し、財務基盤の黒字安定化に努める。

#### 3 市の対応

これまで行ってきた経費削減、学生募集策強化等の取組により、令和5年度における正味財産の経常増減額も黒字化を達成したが、経営の継続的な健全化のため、経営戦略プランに基づき、安定的な入学生の確保に向けた取組が計画的に実施されるよう、引き続き指導等を行っていく。